



名称	十一面観音菩薩像
よみがな	じゅういちめんかんのんぼさつぞう
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	彫刻
所在地	本郷町南方
所有者	東禅寺
員数	1 軀
指定年月日	平成 2 年(1990)11 月 17 日
構造形式	寄木造 玉眼
法量	像高 173cm
公開状況	事前連絡が必要
交通案内	JR本郷駅から南西へ約 5km

【解 説】

本尊は昔、行基菩薩が当地方巡錫の時、山中に紫雲たなびく霊木を見つけ、その様の大木上部の幹や小枝を伐り取り、根付きのまま十一面観音菩薩像を刻まれたと伝えられています。

この像は、東禅寺の本尊を模して造られたといわれていますが、時代は不明です。